

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 南局 北局

2019年度第1回放送番組審議会 議事録

【日 時】 2019年10月21日(月) 16時30分～17時45分

【場 所】 株式会社ジェイコム埼玉・東日本 本社 1F会議室

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

内木 滋郎様	高梨 邦彦様
小林 裕一様	中島 祥雄様
小島 香織様	平沼 大二郎様
清水 志摩子様	町田 伸吉様

<事業者:株式会社ジェイコム埼玉・東日本>

代表取締役	社長	菊池 孝太郎
常務取締役		金子 雅一
常務取締役		山本 利行
制作グループ長		大橋 洋一
制作グループ		生永 航太
制作グループ		新井 克洋
さいたま南局	局長	長谷川 栄
さいたま南局	地域プロデューサー	大塚 賢
さいたま北局	局長	国分 多喜夫

1. 開会（事務局）

- ・出席者の紹介

2. ジェイコム埼玉・東日本 さいたま南・北局の現況報告（菊池社長）

- ・ 加入世帯数、サービス内訳、事業概況等について
- ・ J:COM HOME サービス開始について
- ・ ラグビーワールドカップ 2019 埼玉・熊谷開催 機運醸成事業の取り組みについて
- ・ ツール・ド・フランス さいたまクリテリウムの実施について
- ・ e スポーツ ウイニングイレブン 都道府県代表決定戦 実施報告について

3. 2019 年度コミュニティチャンネル編成内容について説明（大橋制作グループ長）

- ・ 法人再編に伴う体制変更について
- ・ 各番組の概要紹介

地域に密着し、地域に根差した番組制作の推進については継続する。

さいたま南・北局エリアについては「デイリーニュース埼玉中央」「ぐるっと SAI 発見」「わくわく1年生」、3つの番組を制作している。それ以外では、県内で放送しているレギュラー番組としてラグビー応援番組「もっと!埼玉ラグビー」のほか、浦和レッズの応援番組「Reds! Get Goal!!」、埼玉西武ライオンズの応援番組「LTV」等がある。

- ・ 新番組について

清水志摩子様にご協力頂き、番組「志摩子の部屋」を9月より放送開始した。

4. 前回の番組審議委員会でご指摘頂いた意見にたいする改善について説明

（意見）

災害時における地域情報発信の強化。

（回答）

特に被害の大きかった台風 19 号発生時においては、10 月 12 日から 15 日まで通常の編成プログラムを中止し、緊急編成を実施。L 字画面で、台風関連情報や避難情報等を掲出した。こうした災害時にはきめ細やかな情報を掲出し続けることを目標とし、今後も取り組み続けていく。

(意見)

スタジオの背景が暗い。

(回答)

5月から9月までは陽が明るいので屋外を背景にスタジオのレイアウトを組んだ。10月以降は陽が落ちるのが早く、背景が暗くなるのでスタジオレイアウトを変更し対応している。

(意見)

細やかなテロップ表記への改善。

(回答)

詳細な地名の記載や、読みやすい説明表記をするよう心掛けている。引き続き改善に取り組む。

(意見)

番組プロモーションの強化。

(回答)

プロモーションに関しては、未だ不足していると認識。ジェイコム埼玉・東日本一体となって今後改善を図っていきたい。

5. 番組の審議

■『デイリーニュース埼玉中央』 8月30日(木) 放送について

(平沼委員長)

これより番組の審議に入る。初めに『デイリーニュース埼玉中央』についてご意見を頂きたい。

(小島委員)

以前は画面の文字が小さかったが、最近は大きくなって見やすくなった印象。

伊奈町とローソンとの企画紹介について、実際に試食した人のインタビューがあると良かった。ラグビーイベントの紹介の際に唐突に映像が流れたが、内容が分かりにくい印象を持った。

(小林委員)

全体としては地域に密着した番組として、バラエティーに富んで良かった。木下大サー

カスの公演紹介については、実際観覧された方の感想インタビューをもっと入れたほうが良いと思う。

(大橋制作グループ長)

　　インタビューの内容については前回も、多くの方の感想を入れたほうが良いとの指摘があり今後改善していく。

(町田委員)

　　全般的にはよくできているが木下大サーカスの開催場所を詳しく表記して欲しかった。

(大橋制作グループ長)

　　テロップ表記の配慮が不足している為、今後改善していく。

(町田委員)

　　埼玉県警察からのお知らせについて、画面の情報量が多すぎて追いかけるのが難しい。もっと分かりやすく説明するよう工夫して欲しい。

(内木委員)

　　美園北中学の紹介について、場所が分かりにくかった。校舎全体の映像も必要だったのではないか。木下大サーカスの紹介も同様に、開催場所を詳しく表記して欲しかった。

　　天気予報の紹介について、県内天気をもっと細かく紹介できると良い。

(高梨委員)

　　全般的には良くできている。木下大サーカスの紹介では、やはり感想インタビューが必要だと感じた。伊奈町とローソンとの企画紹介について、もっと深堀した取材ができると良かった。

(中島委員)

　　年々改善され見やすくなっている。取材ソースも地域に密着して良い。アナウンサーの読み間違いは仕方ないが、改善するよう心掛けて欲しい。

　　他の委員がお話をされていた埼玉県警察からのお知らせについては見づらいので改善したほうが良い。なお、投稿形式等で効果的に映像・静止画像を集めることができる仕組みがあると良い。災害時にも非常に有効だと思う。

(平沼委員長)

　　ど・ろーかるアプリの投稿機能は活用しているのか？

(大橋制作グループ長)

　　弊社のアプリに投稿機能はあるが、使い勝手があまり良くないため十分に活用できていない。今後の課題とする。

(清水委員)

全体的には良いが、アナウンサーについては原稿の読み方に改善の必要がある。また衣装についても配慮が必要。

(平沼委員長)

続いて「ぐるっと再発見」の審議に入りたい。

(小島委員)

「さいたま市防災センター 防災展示ホール」については番組で取り上げたことで初めて知った。体験を交えながらのリポートも分かりやすかった。気になった点としては、女性リポーターが高いヒールのサンダルを履いて出演しており、スニーカーにする等の配慮が必要だった。防災情報に関する注意喚起情報等が無かった。

(小林委員)

体験を通じての防災センターの紹介は臨場感があり良かったが防災情報に関する注意喚起等の情報が無かった。視聴者の世代を意識したようなメッセージを発信したほうが、体験リポートを活かせると思う。

(町田委員)

全体の流れは、臨場感があり良かった。番組 MC のキャラクターについて、見慣れている人は良いが、そうではない方には違和感があると思う。取材先に合わせた人選も必要である。

(内木委員)

消防団を務めていたこともあり関心を持ちながら視聴した。防災センターを地域の方の知っていただく良い機会になったのではないか。

(高梨委員)

番組 MC の息が合って良かったが、もう少し緊張感が必要だったのではないか。災害の被害者の 6 割が高齢者だと聞く。特に高齢者向けにメッセージを発信した方が良いと思う。

(中島委員)

楽しく紹介しており良かった。まずは視聴者に施設に対する興味を持ってもらうことが大切であり、不謹慎にならなければ、もう少し面白くしても良いと思う。楽しさを伝える部分、防災に関する注意喚起を発信する部分、メリハリが重要。

(清水委員)

「さいたま市防災センター防災展示ホール」を取り上げたことは素晴らしい。

(平沼委員長)

本日の各委員の意見を元に、引き続き改善をお願いしたい。

これにて番組の審議を終了する。

5. 閉会(国分局長)

本会各委員の意見をもとに、さらにより良い番組を作っていく。

以上